

I 目的

富良野看護専門学校の理念・教育目的・目標に照らし、自らの教育活動を通して評価し、教育水準の維持・向上及び創意工夫のある教育の追求を図ることを目的とする。

II 対象

- 1 評価対象 教務課 11 名、事務課 2 名の計 13 名
- 2 調査票配布数 12 部、回収 12 部 (92%)、有効回答 12 部 (100%)
- 3 調査時期 平成 30 年 1 月 9 日～19 日 10 日間
- 4 調査内容は別紙のとおり。自記式無記名とし、今年度より新たに「1 当てはまらない」と評価した場合、その理由について記述することとした。

III 結果

調査内容は、9 領域カテゴリーの 41 項目の下位目標 125 項目に基づき調査を行った。3 段階の評価尺度を点数化し「3 よく当てはまる」を 3 点、「2 だいたい当てはまる」を 2 点、「1 当てはまらない」1 点とし項目の平均点を算出した。

1 カテゴリー及び項目平均点 (表 1 参照)

9 つの領域のカテゴリーの平均点は 2.26 であり、昨年と比較すると 0.67 上昇した。9 つの領域のうち 7 つが「2」以上であった。「2 以下」の 2 つの領域は昨年と同様の領域であったが、平均は昨年と比較すると共に上昇した。

2 領域別のカテゴリー (図 1, 2 参照)

領域別の平均点は下位項目 41 項目のすべてにおいて昨年よりも上昇した。以下の 5 項目は昨年に引き続き「2」以下であった。①『IV 教授・学習・評価過程』【7 教員の教育・研究活動の充実】1.88、②『VII 卒業・就業・進学』【2 卒業時の看護実践能力と卒業後活動】1.85、③『VIII 地域社会／国際交流』【2 国際交流のための体制】1.60、④『IX 研究』【教員の研究活動を保障】1.92、⑤『IX 研究』【教員の研究活動体制、文化的素地】1.79 であった。昨年「2」以下であった項目は、学校運営目標に掲げ取り組んだ結果、すべての項目が上昇した。次年度は「2」以上はさらにより良い状態へ、「2」以下の 5 項目は具体的な改善策を立案し取り組み、教育環境及び看護教育の質向上を目指したい。

平成 29 年度 自己点検・自己評価調査結果

表 1

カテゴリー	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
I 教育理念・教育目的	2.48	2.18	1.90	1.80	2.00
II 教育目標	2.51	2.18	1.90	1.90	2.00
III 教育課程経営	2.30	2.07	1.80	1.80	1.70
IV 教授・学習・評価過程	2.34	2.12	1.80	1.90	1.70
V 経営・管理過程	2.35	2.08	1.80	1.70	1.60
VI 入学	2.54	2.08	2.00	1.40	1.40
VII 卒業・就業・進学	1.98	1.72	1.60	1.40	1.30
VIII 地域社会/国際交流	2.04	1.94	1.70	1.60	1.70
IX 研究	1.83	1.50	1.20	1.10	1.10
評定平均	2.26	1.99	1.74	1.62	1.61

図 1

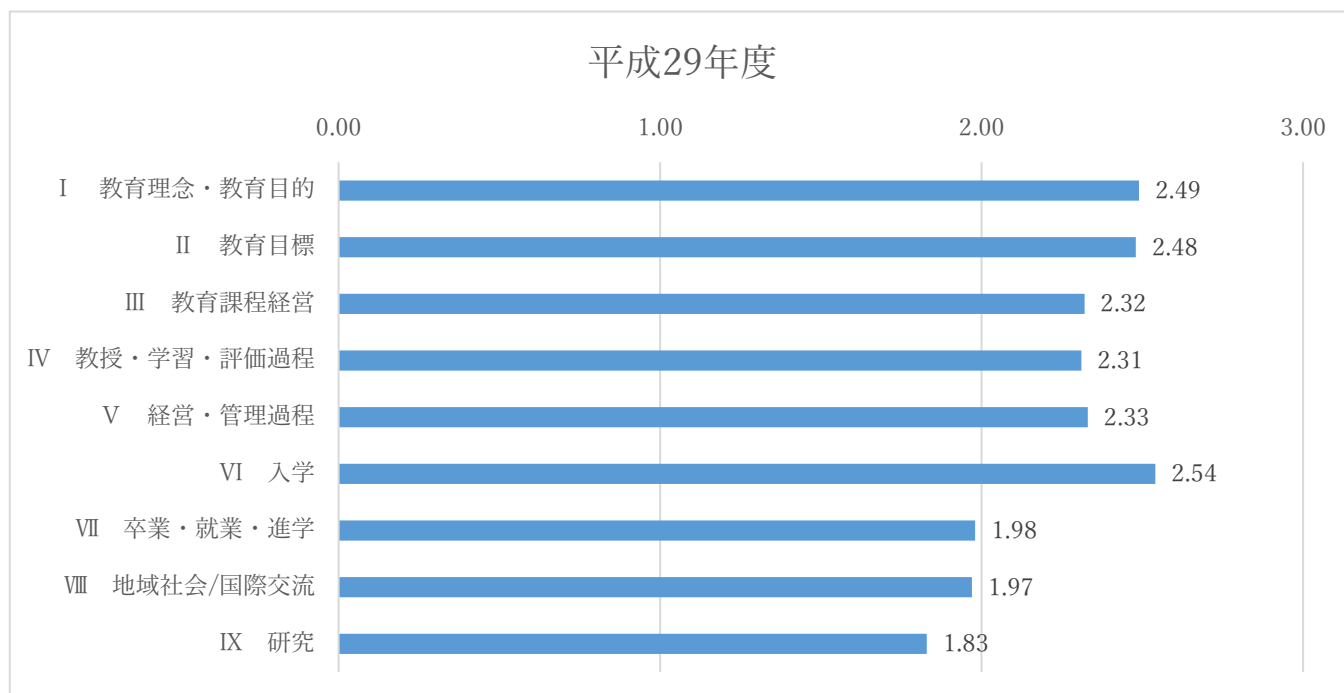


図 2

